

令和2年度（2020年度）

学習の手引き

明石市立高丘中学校

目 次

「学習の手引き」について	… 1
国 語	… 2
社 会	… 4
数 学	… 6
理 科	… 8
音 楽	… 10
美 術	… 12
技術・家庭	… 14
保健体育	… 16
英 語	… 18

保護者の皆様へ

「学習の手引き」について

高丘中学校では、全教科で毎時間の最初に「本時のめあて」を確認して授業に入り、授業の終わりに「振り返り」の時間を設けています。これは、1時間の中でどんなことがわかったか、できるようになったのかを自分自身で振り返ることにより、学習したことが自分の力となって定着することを目的に行っています。

さらに、高丘タイムで1日の学習内容を振り返り、家庭学習につなげていけるようにしています。学習したことをその日のうちに復習し、理解を深めさせたいと考えています。

この「学習の手引き」は、各教科でどのように学習していけば良いかをまとめたものです。日々の授業はもちろん、家庭学習の参考に、ぜひご活用下さい。

中学校の国語の授業

1 一年間でこれだけのことができるようになる

- ☆話す力…自分の伝えたいことを的確に話することができる。
- ☆聞く力…メモを取り、要点を絞って聞くことができる。
- ☆書く力…自分の伝えたいことを簡潔に表現する力がつく。
- ☆読む力…黙読、音読等を行うことで心をこめ、相手に伝わるような読み方ができる。
- ☆漢字力…授業内で小テストを行い繰り返し練習することで漢字力がつく。
- ☆語彙力…辞書を引き、丁寧に意味調べを行うことで語彙力がつく。

2 「授業での心構え・約束」

読む

- 黙読・・・声に出さず、頭の中で読む。
- 音読（朗読）・・・声に出して読む。文章の内容によって、工夫して読む。
- 群読・・・クラス、班などで、声を合わせて読む。詩や古文・漢文など。

書く

- 板書をノートに写す。
- 黒（鉛筆またはシャープペンシル）赤、青、緑ペン等を用意し、わかりやすく工夫してノートを作ろう。ラインマーカーなど自分独自の筆記用具を用意してもよい。
- 板書を写すだけでは不十分。先生が言ったことで自分が「重要だ！」と思うことはノートに書き込み、テスト勉強に役立てよう。

発表

- 先生の発問でわかった人は手を挙げて発表しよう。また、授業でわかったこと、感じたこと、疑問点なども発表しよう。
- 友達の発表をよく聞いて、さらに考えを深めよう。

漢字テスト

- 授業内に、漢字テストを実施。

めあてと振り返り

- 授業の最初にその時間の「めあて」を提示、確認し、授業の残り5分間で、「めあて」を振り返り、家庭学習につなげる。

3 「持ち物・使用教材」

教科書 ①「伝え合う言葉」中学国語

ノート ②大学ノート（マンガやイラストのついていないノート、罫の幅は自由）

③ファイル（配布されたプリントをファイルする）

副教材 ④「国語の学習」2年、「新 国語の学習」1，3年

⑤文法のワーク

⑥国語便覧（資料集）

⑦国語辞典

⑧のり・はさみ（配布されたプリントをノートに貼る時に使用する）

⑨「ぎゅぎゅっと総まとめ」3年

⑩学年によって漢字テスト用ワーク

4 「家庭学習について」

3年生は、問題集、1，2年生はワークを利用して力をつけよう。

漢字テストなど、小テストもあります。しっかり練習しよう。

5 「評価について」

①国語への関心・意欲・態度・・・発表、提出物、授業態度等

②話す、聞く力・・・発表、表現、聞き取り等

③書く能力・・・定期考査、作文、提出物等

④読む能力・・・定期考査、提出物等

⑤言語についての知識・理解・技能・・・漢字テスト、文法、提出物等

以上の5つの観点を单元ごとにA、B、Cで絶対評価し、合計で5～1段階で表します。

6 定期テスト（予定です）

5月 確認テスト 6月 期末テスト 8月 課題テスト（3年実力）10月 確認テスト
（3年 11月実力テスト） 11月 期末テスト 1月 実力テスト 2月 学年末テスト

教科名（ 社会科 ）

1 この3年間の目標（こんなことができるようになってほしいこと）

- ・ 地図を見たり、新聞を読んだりすることが好きになる。
- ・ 資料を読み取り、自分の考えを持ち、説明できるようになる。
- ・ 現在の自分たちの生活と照らし合わせながら、国内の様子や世界の情勢にも目を向け、関心を持つことができる。
- ・ 社会的事象に興味を持ち、自ら探求をすることができる。

2 持ち物・使用教材

- ①教科書（地理・歴史・公民の授業に応じてその分野の教科書を使用）
 - ②ノート…各分野ごとにノートを作る、各分野を続けて書く、どちらでもよい
 - ③地図帳
 - ④資料集（1年のみ）
 - ⑤ワーク…主にテスト前や普段の家庭学習時に使用 ※担当教師の指示に従う
- ※③④⑤は学校に置いておいてよいもの

3 授業での心構え・約束

- ・ 忘れ物をしない。
- ・ 先生の話をしっかり聞く。
- ・ 質問については積極的に発表する。あなたの意欲がきっと授業を盛り上げます。
当てられているのに何も言わないのは授業をストップさせているのと同じなので、わからない時は教科書やノートを使って答えを探す。
- ・ 板書した内容はノートに丁寧に写す。
- ・ 板書に応じて色を変えて見やすくするなど、大切なところは一目でわかるように工夫する。
- ・ ノートの右端に欄をつくり、授業の最後の5分間の振り返りの時間に、重要語句やその語句の説明文、自分で気がついたことや次回への課題などを見つけ、記入していく。その上で家庭学習につなげられるようにする。

4 家庭学習について

- ・新聞やテレビのニュースを見て、世の中の動きに関心を持とう。
- ・教科書は授業の前に読んでおく。教科書を読むことは毎時間の宿題です。
- ・授業において大切な語句（色を変えて板書した語句や何度も念を押して大切です」と説明した語句）は繰り返し発声したり、書いたりして、習得する。（とにかく、まずは「書くこと」が大事）
- ・単元が終了すると、その単元をノートにまとめる。

5 評価について

- ・授業態度、実力・定期考査の観点別の得点、提出物、準備物などを総合的に判断し、評価します。

○数学の学習の仕方

数学の学習は、筋道をたてて考えることが大切です。時間がかかっても、自分の力で問題が解けたときや新しいことが理解できたときの喜びはひとしおです。ぜひ、そんな体験を増やして欲しいと思います。

1. 1年間の目標

考える力、計算力、知識 を身に付ける

2. 持ち物・使用教材

教科書、ノート、問題集、ファイル、定規、コンパス

3. 授業での心構え・約束

- (1) 先生の説明をしっかりと聞いて、自分で考え試してみる積極的な姿勢が大切です。
- (2) 間違いを恐れずに、まずは自分で考えること！わからないことはすぐに質問をしてその日のうちに解決をしよう。わからないところをそのままにしないことが大切です！
- (3) ノートの使い方
 - ①そのノートが素晴らしい参考書になるように。
板書以外にも、先生の言ったことをメモするなど工夫して個性のあるものにしよう。
 - ②ノートは余裕をもって書き、要点や別解が書き込めるようにしましょう。
 - ③色ペンを使って見やすいノートに！
 - ④計算は全てノートにしよう。
途中式は必ず書こう！計算はその過程が大切です。過程が残っていれば、どこで間違ったかがよくわかります。同じ間違いを繰り返さない為にも、過程は消さずに残しておきましょう！
 - ⑤図は大きく丁寧に！正しい図を書くことで理解につながります。
- (4) 数学は正確さが要求されます。注意深く一問一問見直す習慣をつけましょう！

4. 家庭学習について

《復習》

- (1) 予習より復習に重点を置いて学習しよう！
- (2) 教科書・ノートを中心に「なぜ」が「なるほど」に変わるまで学習しよう。
- (3) 習った内容と同じような問題をくり返し練習しよう！
- (4) 宿題は必ずその日のうちに！
- (5) 解けなかった問題でも時間（または日）をおくと解ける場合があります。
- (6) 答え合わせをして間違っていたら…
 - ①不注意によるものか
 - ②考え方が間違っていたものか
をはっきりさせ、間違い直しをしておくこと。このとき、途中式を消さずに、赤ペンで間違えているところから訂正すること。

《予習》

- (1) 教科書をよく読み、わからないところに線をひくか、ノートに書き出しておこう！
- (2) 例題を自分で考えてやってみよう！
- (3) 余裕があれば、練習問題をやってみよう！問題集にチャレンジしてみてもOK！

5. 評価について

各テストの点数はもちろんのこと、授業中の態度や提出物の状況、内容も評価に大きく影響してきます。テスト前だけ勉強するのではなく、普段の授業や提出物も大切にしていこう！

《提出物について》

まずは自分の力で解いてみよう。どうしてもわからない問題は答えを見ても構いません。しかし、丸写しにならないよう、答えを見てから自分の力で解きましょう。

答え合わせは、ただ単純な〇×にならず、間違えた箇所から途中式も赤で訂正しましょう！

6. その他

《テストへの取り組み》

- (1) テスト勉強のときは、問題集で間違った問題を中心に勉強し、必ず解けるようにしておこう。ミスしやすいところにも気を付けて！
- (2) テスト問題は、易しいもの、普通のもの、やや思考を要するものという具合に3段階に分かれて入り混じっています。テストが配られたら、易しいものから解いていきましょう！
- (3) 難しい問題に時間をかけていると、焦ってしまい、易しい問題まで出来なくなってしまうことがあります。時間配分に気をつけよう！
- (4) 数学では、前の問で解いた答えを使って、次の問題の答えを導く場合が多いです。特に関連を持って答える問題は、不注意によるミスをしないように心掛けよう！

《数学が苦手な人へ》

数学は積み重ねの教科です。したがって、数学が苦手という人は過去のどこかの段階でつまずいたために、苦手意識が出たのでしょう。そのつまずいた内容からもう一度勉強し直しましょう。

～勉強方法～

- ① 授業中の説明をしっかり聞く習慣を身につけよう！
- ② 易しい問題は必ず完成させる意気込みを持つこと！
- ③ 毎日20～30分は数学の時間を確保すること。
- ④ 数学は考える力を養う教科です。解けなくても「考える」ことに意義があります。
- ⑤ わからない問題にぶつかったときは、まずは自分で考えることが大切です！
それでもわからなければ「答えを見る」。それでもわからなければ「解説を見る」。

教科名(理科)

1 3年間の目標

- 1年 自然現象に関心を持ち、自ら探究する力を育成する
- 2年 観察・実験の基本的な技能を身につけ、科学的思考力を高める
- 3年 観察・実験を通して、科学的な思考力・表現力を高める

2 持ち物・使用教材

- (1) 通常持ち物
 - 1年 教科書・ノート・理科資料
 - 2年 教科書・理科ノート・理科便覧
 - 3年 教科書・ファイル・理科資料
- (2) その他使用教材
 - 1年 理科の学習(ワーク)、観点別ミニテスト、積み上げ(白プリント)、ファイル
 - 2年 確認から発展へ(白プリント)、ファイル
 - 3年 理科の学習(ワーク)、週のまとめ(白プリント)、総整理(入試対策用)

3 授業の取り組み方、約束

- 1 ノートを丁寧にきちんと書こう。
- 2 先生の話や単元のポイントなどを、一言一句聞きもらさないように授業に集中しよう。
- 3 実験は人任せにしないで積極的に行えば、経験として残ります。
- 4 宿題をきちんと期限までに提出しよう。(遅れたら減点対象)
- 5 教科書に赤線を入れたところや太文字の部分を中心に覚えよう。
- 6 間違ってもいいので、積極的に発表しよう。(授業は間違えるところです。)

4 家庭学習について

- 1 予習よりも復習に力を入れよう。
- 2 その日習った内容はその日のうちに復習しよう。10分復習すれば必ず効果が表れます。
- 3 自主学習のワークでその日のうちに習ったところの問題を解いておこう。
- 4 理科が苦手な人は興味のある分野を見つけよう。(好きこそものの上手なれ)

5 テスト勉強について

- 1 ノートをしっかり見返そう。(見返したくなるようなノートをとることが大切)
- 2 白ブリやワークなどを何回もやり直そう。
- 3 教科書の太字の語句を中心にしっかり覚えよう。(漢字でしっかり書けるように!!)

6 評価について

- 1 関心意欲：提出物（ノート・ワーク・白ブリ他）、忘れ物、発表、小テストなど
- 2 思考表現：テスト、実験レポート、自由研究
- 3 技 能：テスト、実験レポート、自由研究
- 4 知 識：テスト、小テスト

7 振り返りについて

授業の最後に、本時のめあてと学習した内容を確認し、本時のまとめを行う。

教科名（音楽）

- 1 この1年間の目標（こんなことができるようになってほしいこと）
 - ・心をオープンにして、自分の思いを音楽で表現できる
 - ・表現活動を通して、仲間と一つのものを創り上げる一体感を味わえる
 - ・クラスや学年全員で協力し、表現することを楽しむ
 - ・個人の表現の技術を上げ、全校的に合唱のレベルアップを目指す
- 2 持ち物・使用教材
 - ・1年生…中学生の音楽1 中学生の器楽 アルトリコーダー
コーラスフェスティバル ワーク ファイル
 - ・2年生…中学生の音楽2.3年 上 中学生の器楽 アルトリコーダー
コーラスフェスティバル ワーク ファイル
 - ・3年生…中学生の音楽2.3年 下 中学生の器楽 アルトリコーダー
コーラスフェスティバル ワーク ファイル
- 3 授業での心構え・約束
 - ・忘れ物を絶対しない。
 - ・歌う時恥ずかしさを捨て、思いっきり自分を表現しましょう。
 - ・立つ、座る、移動…行動はきびきびとメリハリをつけましょう。
 - ・話や音楽を聞くときは、耳を傾けましょう。
 - ・説明することは大事なことで、黒板に書いた事はワークやプリント等
に書き込んでいきましょう。
 - ・プリント類はファイリングしていき、テスト前に活用してください。
ファイルは1年間使用しますのでなくさないように。
- 4 家庭学習について
 - ・テストは毎学期の期末テストに行います。
 - ・ワークや授業で配ったプリントを見直し、音符、休符、音楽記号や語句を覚え
ましょう。
 - ・週に1・2回しか授業がないので、授業で話した内容など、ワークやプリント
にメモをとっておくと学習しやすいです。
 - ・聴き取りテストは授業中に練習するので、問題の傾向に慣れましょう。

5 評価について

<意欲・関心>

- ・授業で毎回記入する振り返りシートは、しっかりと自分の活動を振り返り、次回へのステップアップを図りましょう。
- ・普段の授業での取り組み姿勢が一番大事です。授業態度は自分自身で意識しましょう。何事もやる気と関心を持って臨みましょう。

<感受・工夫>

- ・3年間で学ぶ音楽記号や用語を覚え、自分の表現に生かしていきましょう。
- ・期末テスト前はテスト範囲をしっかりと学習し、音楽への理解を深めましょう。

<表現の技能>

- ・実技テスト（歌のテスト、リコーダーのテスト）があります。実技テストに向けては、授業でしっかり声を出して歌い込んだり、吹き込むこと、強弱のことや歌詞の意味をよく考えて工夫して歌うこと、テスト本番も恥ずかしがらず、苦手でも前向きに取り組むことが大事です！！

<鑑賞>

- ・鑑賞の分野は、音楽演奏に関する要素（楽器、リズム、拍子、調性、演奏形態など）の理解を高めたり、鑑賞する曲に込められた作曲者の思いを曲から読み取り、その曲が何を表現しているのかを感じ取ることが大切です。
- ・聴き取りテストの練習にしっかり取り組み、鑑賞曲に関するワークやプリント、感想文などをきちんと仕上げましょう。

教科名（ 美術 ）

1 この3年間の目標（こんなことができるようになってほしいこと）

- 1年 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培う。
心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
道具の正しい使い方を身につける。
- 2年 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深める。
心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- 3年 対象を深く見つめ感じ取る力を高める。
幅広い視点を持ち、創造的・総合的な見方や考え方を育てる。

2 持ち物・使用教材

- 1年生 教科書1 美術資料、レタリング辞典、スケッチブック、絵具セット
- 2年生 教科書2、3年 美術資料、レタリング辞典、スケッチブック、絵具セット
- 3年生 教科書2・3年 美術資料、レタリング辞典、スケッチブック、絵具セット

3 授業での心構え・約束

- ・課題の提出期限を守ること。
- ・授業中の制作と関係ない私語厳禁、準備、片付けを自主的に行える指導を行う。
- ・時間を守る。授業の開始、片付けの時間、終わりの時間を守る。
- ・チャイムが鳴った時には、自分の席に座っていること。
- ・作品、道具を丁寧に扱い、使用したものはもとの場所に戻す。

4 家庭学習について

- ・絵を描くデッサン力は継続力です。毎日描く練習すれば上達します。
- ・普段からきれいなものや美しいものをたくさん観察しよう。
- ・美術館や博物館に行って、様々な表現を自分の目で見てたくさん吸収しよう。

5 評価について

<美術への関心・意欲・態度>

- ・授業内容について理解しようと意欲的に取り組んでいるか。(ワークシート、期末テスト)
- ・余計な私語をしない、忘れ物をしないなど授業に対する取り組む姿勢。
- ・提出物を期限までに仕上げ提出できているか。

<発想や構想の能力>

- ・イメージを膨らませ創造や感情などの心の世界を基に、主題を生み出そうとする。
- ・形や色彩の効果を生かして材料などの組み合わせを工夫し、構想を練ることができる。
(提出作品、制作課程、期末テスト)

<創造的な技能>

- ・表現したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫することができる。(提出作品、制作課程、期末テスト)
- ・制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現することができる。

<鑑賞の能力>

- ・制作者の心情や意図、表現の工夫を感じ味わったり、美術文化についての理解や見方を深めたりすることができる。(ワークシートの記入等、評価シート、期末テスト)

教科名（ 技術・家庭 ）

1 3年間の目標

<技術分野>

◎生活をよりよくするためのものづくりを学ぼう。

1年 情報技術及び生物の育成について学ぶ。

2年 エネルギーの変換と利用について学ぶ。

3年 材料に適したものづくりについて学ぶ。

<家庭分野>

◎自立を目指して学ぼう。

1年 衣生活・住生活の自立

2年 食生活の自立

3年 精神的な自立

2 持ち物・使用教材

<技術分野>

全学年：教科書、ファイル

※時期により用具等指示あり

<家庭分野>

1年：教科書、ハンドブック、ワーク、ノート、「衣生活」に関する教材

※時期により裁縫道具が必要

2年：教科書、ハンドブック、ワーク、ノート、「食生活」に関する教材

※時期によりエプロン等必要

3年：教科書、ハンドブック、ワーク、ノート、「幼児とのふれあい」に関する教材

※時期により用具等指示あり

3 授業での心構え・約束

- ・忘れ物厳禁：忘れ物をすると、その時間が無駄になります。
- ・私語厳禁：集中しないと、ものづくりの楽しさは実感できません。
- ・話や説明を目と心で聞いて各自がしっかり理解する。
- ・ものづくりは途中で諦めず、最後まで完成させる。
- ・用具は正しく使用し、安全に注意する。
- ・その時間の目標が達成できるように努力する。

4 家庭学習について

- ・生活の中の様々な製品や物質に目を向ける。
- ・どんなことでも自分のことは自分でやってみながら経験を積む。
- ・ものづくりの楽しさを理解するためにも作品づくりに真剣に取り組み、完成させたものを家庭で使用する。

5 評価について

＜興味・関心・態度＞

授業に前向きに参加すること。忘れ物をしないこと。提出物を期限通りに提出すること。生活の中の課題を発見しようとする態度等を総合的に評価します。

＜創意・工夫＞

ものづくりを完成させるために、生活をよりよくするために考え工夫することができること。独創的な作品づくりをすることができる能力。等を総合的に見て評価します。

＜技能＞

作品の完成度。用具や材料を正しく選択・使用し、ものづくりを進めることができる能力。説明書や資料をもとに作業を進めていく能力。等を総合的に見て評価します。

＜知識・理解＞

定期テストの得点。授業で行うプリント学習の理解度を図るテストの得点。等を総合的に見て評価します。

教科名（ 保健体育 ）

1. 使用教材

体操服 夏用：半袖・ハーフパンツ 冬用：長袖ジャージ・長ズボン
図解体育（副読本） 新しい保健体育（教科書） ファイル シャーペン

2. 授業での約束

授業の流れ

- ◎開始の3分前までに活動場所に更衣を済ませて、4列横隊で座って集合。
 - ◎あいさつ・健康チェック・忘れ物チェック・めあての確認
 - ◎ランニング→ラジオ体操→腕立て・腹筋・背筋各自10回の流れでウォーミングアップをする。（全員でしっかり声を出そう）
 - ◎担当教師の指示に従い、集中し怪我の無いように授業に参加する。
 - ◎終了の合図が出たら、活動の途中であってもすぐに止め、片づけをして4列横隊で座って集合をする。
 - ◎本時の振り返りをする。（ファイルは教室もしくは自宅で記入する。）
 - ◎終了のあいさつ
 - ◎急いで教室に戻り、更衣をすませ、次の授業に遅れないようにする。
- 以上の流れで体育の授業は行われます。みんな積極的に動いて楽しい授業にしましょう。**

注意点

- ◎見学者は自分で担当教師に理由を申し出る。（保護者に生徒手帳に見学理由を書いてもらう。朝に担任の先生にも見せる。）
- ◎見学者であっても体操服に更衣する。制服のままで参加しない。あくまで体育の授業です。（冬季、かぜなどで見学の場合は考慮します。事前に申し出ましょう。）
- ◎体操服を着用していない者は、授業に参加することはできません！
※忘れた場合は体育の先生に申し出て、貸し出しをしてもらう。
- ◎体育授業後の更衣は素早く！体育の授業を次の授業遅刻の言い訳にしない！
- ◎授業内の種目によっては、周りの人と接触することもあるので、爪は必ず切っておく。（安全管理）また、女子で髪の毛が長い人は必ずくくること！！
- ◎正しい服装で、気持ちよく授業に参加する。（シャツを出したりズボンをずらすのはやめましょう！）基本の風紀を忘れずに！！
- ◎上履きと体育館シューズの区別をしっかりとつけましょう！！

《集合隊形・四列横隊》

※整列の仕方

保体『整列します。〇〇基準右へならえ！！』 基準者は手をまっすぐ上げる。
最前列全員→自分の右手を腰に当て、右の人に合わせていく。
2列目以降は『前へならえ』

《あいさつ》

◎4列横隊で整列ができれば・・・

保体『休め！！』 → 全員休めの姿勢になる

保体『今から体育の授業を始めます』or『これで体育の授業を終わります』

保体『気を付け！！』 → 全員気を付けの姿勢になる

※すべて保体委員の後に声を出す。

保体『礼！！』 → 全員『お願いします！』or『ありがとうございました！』

《ランニング》

◎四列横隊のまま、保体の指示で方向を変える。

保体『右向け右！』 → 全員右を向く

保体『その場駆け足、よーい』 → 全員手を腰の位置で構える。

保体『はじめ！！』 → 全員『1・2』（3回）

保体『前に進め！！』 → 全員前に走り出しながら『1・2』

保体『1・2・3・4！！』 → 全員『1・2・3・4
2・2・3・4ヤー！』

保体『全体止まれ！』 → 全員『1・2・3・4・5』

保体『左向け左！』 → 全員左を向く

《体操》

保体『〇〇君・さん基準。体操の隊形に開け！！』

全員大きな声で『やあっ！！！！』

※ラジオ体操後、各自で、腕立て・腹筋・背筋・各10回

保体『〇〇君・さん基準。元の隊形に集まれ！！』

全員大きな声で『やあっ！！！！』

3. 家庭学習でのアドバイス（最低これだけはやろう！）

- ・授業で学んだ知識を生かして、毎日の生活の中で実践する。
- ・新聞やテレビ等を通して、スポーツへの関心を高める。

4. 評価について

◎運動や健康・安全への興味・関心・態度

（集団行動・ランニング・ラジオ体操・声・ファイル提出など）

◎運動や健康・安全についての思考・判断

（ファイル・各種目の感想・リーダー性など）

◎運動の技能

（実技テスト・日頃の種目への取り組み）

◎運動や健康・安全についての知識・理解

（期末テスト）

の4つの観点で評価します。

教科名（ 英語 ）

1. 1年間の目標（この1年でできるようになってほしいこと）

- 1年生…英語を使うことに慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図りながら、身近なことについて表現できる。
- 2年生…基礎基本を活用して、ヒントを得ながら文章を読んだり、身近なことについてまとまりのある文で表現できる。
- 3年生…比較的長い文章を読んで理解し知識を活用して自分の考えや気持ちを理由などと共に表現できる。

2. 使用教材（持ち物）

- ①教科書『NEW CROWN』
- ②ノート（本文を写すなど授業で使用）
（学年によっては、練習用ノートが必要…単語練習など自主学習で使用）
- ③ワーク類・ファイル（学校で用意します）
- ④辞書…必要な時に指示（学校に置いておいてOK）
- その他…プリントを貼るのに、のりやハサミも用意しておく

3. 授業での約束

授業はすべての基本。積極的に参加することで英語力はぐんぐん伸びます。

【準備】

- ① 持ち物は完璧に。宿題は家でやるもの。必ず全て家でやってきましょう。

【授業中】

- ②大きな声で元気よく、繰り返し発音しましょう。（英語は声を出すことで上達します）
- ③ペア活動や教室での活動は積極的に、そして仲間と協力して取り組みましょう。
- ④間違いはして当然。失敗を恐れずどんどん発言をしましょう。
（失敗なしに上達はあり得ません）
- ⑤説明中や読み書きの時は集中。切り替えを大切にしましょう。
（集中する時と、楽しく盛り上がる時、メリハリが大切です）

【授業後】

- ⑥分からない事はすぐ解決しましょう。授業中でも授業後でも質問しましょう。

4. 家庭学習について（毎日続けることが何より大事です！）

① 初級編（最低これだけは！）

- ・授業で習った教科書とノートのページを読み返す。授業で何を勉強したのかをまとめ。
- ・新しく習った単語や難しい単語などを選び、書けるよう練習する。
- ・教科書を自力で読む。

② 中級編（さらにすすめてこんなことも！）

- ・授業で習った教科書をノートのページを読み返す。授業で習った基本文を英作する。
- ・教科書を何度も読み暗唱する。
- ・習った単語を自分でテストしてみて、覚えられていない単語を書けるまで練習する。

③ 上級編（ここまでできれば◎！）

- ・教科書を暗唱し、何も見ないで本文を書いてみる。まちがったところを、繰り返し練習する。
- ・ワークブックで授業の内容の練習問題をする。間違った問題をやり直す。
- ・基本文の表現や、本文に出てくる表現を使って文を作る。
- ・ラジオ講座やテレビ講座を聞く。
- ・英検などの外部試験に挑戦する（中3で英検3級以上を目指そう）。

5. 評価について

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業での発表や提出物、忘れ物など 意欲的に授業に参加しようとしているか、英語で積極的にコミュニケーションをとろうとしているかを評価します。
表現の能力	授業で行う英作や表現活動（スピーチ・スピーキングテストなど）、考査での表現に関する問題などを中心に評価します。
理解の能力	授業で行う問題やテキストの理解、考査での理解に関する問題などを中心に評価します。
言語や文化に関する知識・理解	テキストで扱う地域の文化的知識や単語や文法などの問題、考査での知識・理解に関する問題などを中心に評価します。